

# 関門倶楽部 旬通心

第5号  
2006年  
11月

発行所

関門倶楽部 編集部  
〒751-0815  
山口県下関市本町1-4-20  
電話 0832-22-2585

発行日

2006年11月

発行人

(株)林商店

## 関門倶楽部のモットー

- 1 お客様を第一に考えています。
- 2 まごころをこめてお届けします。
- 3 おいしくなければ、お代は一切いただきません。

よろしくお願  
しま～あ!!



◀新しい仲間も加わりパワーアップ!  
みんなで元気に頑張っています。

### 店長・小宮のあいさつ

ふぐの旨い季節になりました!!

お世話になっています。関門倶楽部店長小宮です。いつも当店をご利用いただき誠にありがとうございます。前回の新商品【あんこうの唐揚げ】は大変ご好評いただきスタッフ一同とても感激しています。これまでも皆様に喜んでいただける関門倶楽部をめざして頑張りますのでよろしくお願いたします。さて、今年もふぐの美味しいシーズンになりました。鮮度にこだわりぬいた当店のふぐをぜひお楽しみ下さい。



### 当店のとらふぐちりセットが女性雑誌MOREで表面に紹介されました

#### お客様からの感想

- ・正直に申し上げまして想像していた以上の品質でした。おかげさまで家でおいしいフクを堪能しました。まさか通販で専門店並みの満足が得られるとは!(Y.Y様)
- ・ちりセットいただきました。両親と一緒にほったの落ちそう夕食となりました。最近はお店でも安いフクコースはありますが、全く違う「弾力」でびっくり!また注文させていただきたいと思います。(K.M様)
- ・親戚一同で集まることになりました。野菜等、セットに入っている荷物が到着してからすぐに調理に入ることができました。手間いらずで大変助かります。新鮮でおいしいちり鍋セット。また注文したいと思います。(T.L様)



伊藤博文公

## よくあるQ&A

～今回はふぐ編です～

### Q ふぐ食の歴史って?

A 下関市安岡にある潮待貝塚や綾羅木郷遺跡からは2千年以上も前のものと推定されるふぐの骨が発見されている事から、古代より下関周辺に住んでいた人達はふぐを愛していたと考えられます。それから長い長い時間が流れ、文禄・慶長の役(朝鮮出兵 1592～1598)の時、下関に参集した数多くの兵士が、食糧不足も重なった為か下関でたくさん捕れるふぐを内蔵ごと食べた為、集団食中毒死するという事件が発生しました。これを知った豊臣秀吉は激怒し、「河豚食禁止令」を即刻発令しました。その怒りは凄まじく、字を読めない者の為にふぐの絵を描いた立札まで作らせたとのことです。これが日本に於ける初めてのふぐ食の取り締まりと云われています。(それでも下関周辺の庶民は勝手にふぐの味を楽しんでいたようですが…)

さらに時間は流れ、明治21年(1888)に山口県出身の初代内閣総理大臣、伊藤博文公が下関の料亭「春帆楼」(日清講和条約の舞台)を訪れました。しかし、あいにくその日は海がシケており、魚が全く捕れなかった為、困った女将は怒られるのを承知でふぐ料理を出しました。すると伊藤公は「こねえ美味えものを禁する手はないのう」という事になり、すぐさま時の山口県知事・原保太郎に対し解禁令を出したのです。これにより、その年から山口県では全国に先駆けて大っぴらにふぐが食べられるようになったそうです。まさに「伊藤博文公様々」というか「シケ様々」という感じでしょうか(笑)

### Q 下関ではふぐを「ふく」と呼ぶのは本当ですか?

A 「ふく」という呼び名は「不遇」に通じる。「ふく」という呼び名は「福」に通じるということで、ここ下関ではふぐを「ふく」と呼び、福(ふく)を呼ぶ魚として珍重しています。八の日の席には必ずと言っていいほどふぐ料理がでます。皆様も下関にならってお誕生日・大晦日・お正月・ご結婚式・ご卒業・ご入学・ご就職のお祝いに是非お召し上がり下さい。



## ふぐの種類

**とらふぐ**

とらふぐです。味、身の歯ごたえともに最高なとらふぐの王様と言われます。(お値段もNo.1ですが…)とらふぐには貝、エビ、カニ、段も2種類があります。とらふぐは自然の荒波で自然物やシャコなどを好んで食べますが、天然物が少ないに生きています。貝、エビなどを食べて育った天然物がやっぱ一番旨いですね。天然物は漁獲量が少ないのでお値段は高価ですが、でもやっぱ旨い。次に養殖物ですが、年々養殖技術が進歩してきて、今では養殖物のとらふぐもとってもおいしくなりました。もちろんピンは、天然物とそんじょく上質の養殖物であれば、天然物と同等で食べられるのは養殖のおかげです。

**サバフグ**

日本各地の海岸でとれる小型のフグです。漁獲量も多く、お値段も安いのでポピュラーなフグです。刺身で食べるには、身質、味がまひとつですが、一夜干しや唐揚げにするのが旨いので、主に加工用に使われます。

**トラフグ**

瀬戸内海や九州西岸でとれる小型のフグ。あまりたくさんとれないので、知らない人が多いのですが、味、身の歯ごたえもよく、刺身にしてもとっても旨いふぐです。お値段もお手頃です。

**カラスフグ**

漁場は東シナ海。トラフグに比べ主なトラフグは日本近海で産卵するが、こちらは中国近海で産卵、回遊する。肉付きは、トラフグより若干少なく、身も黒め。トラフグに次ぐ値段で扱われるフグです。

## ユニークな「ふく」にはユニークな「袋せり」

ふくのせりといえば「袋せり」が有名です。季節になるとテレビや新聞などで必ず紹介される、この独特な方法。では、どのようにして始まったのでしょうか?今日はその点について調査してみました。



その昔、魚を生かす水槽もなく、船も小さい為シケなどで魚が出来ない日が多くあった頃は今よりもずっと相場の変動が激しかったのです。ふくの専門店に行くと「今日はシケでふぐがありません」では看板倒れと言われてしまいます。その為、落札はもったいない。せり場はまさに闘いの場。文字通りしばしば大喧嘩になったようです。そこで争いを避ける為、冬場の寒さをしのぐ為に着ていた合羽(かっぱ)の袖口の中で、売り買い両者が指と指で数字を作ったり落とす方法が生まれたのです。そしてその後、合羽の袖口は「肘から先の長さの黒い袋」として変わり、現在のスタイルになりました。「エカエカエカ…」(用意はいいか?場を締めてもいいか?の意)というせり人の掛け声に合わせて仲買人は袋の中に手を入れ、指を握り提示額を示す。瞬時にふぐの値打ちを見極め、目当てのふぐを獲得しなければならぬのです。今もなお「闘い」の場なのです。

袋せりが見たい人はぜひ下関に来て下さいね!おいでませ下関へ…

